

教育センター通信

ほ ど
火床の火の心を紡ぐ

第 10 号 (通算 104 号)
令和 5 年 2 月 22 日

三条市教育委員会
教育センター発行

小中一貫教育
トップページ



2月17日(金)大崎学園
双華会総会

共に学び、成長し続けるために

教育センター 指導主事 今井 由実子

令和4年12月に文部科学省から「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果」が公表されました。平成14年、平成24年、令和4年と10年ごとに実施されてきた調査で、今回は高等学校も対象に加わりました。通常の学級に在籍している児童生徒のうち、質問項目に対して学級担任等が回答した内容から、知的発達に遅れはないものの学習面や行動面で著しい困難を示すとされた児童生徒の割合が8.8%と推定されました。対象地域や質問項目等が一部異なるため単純に比較はできませんが、前回調査よりも2.3ポイント増加し、35人学級であれば3人ほどが該当する結果となりました。文部科学省はこの結果について、「前回の調査から10年で義務教育段階において通級による指導を受ける児童生徒の割合が約2.5倍になっていることを踏まえると、驚く数字ではない」としています。また、増加の理由を特定することは困難であるとしながらも、「通常の学級の担任を含む教師や保護者の特別支援教育に関する理解が進み、今まで見過ごされてきた困難のある子供たちにより目を向けるようになった」ことを理由の一つとして挙げています。

教員の喜びの一つは、子どもが目を輝かせて学び、活動し、成長する姿を見ることがです。すぐに理解して力を伸ばしていく子がいれば、一つずつ丁寧に学びながらゆっくり成長する子もいます。状況を見て自然に判断して行動する子がいれば、教えてもらって初めて気付き、練習してできるようになる子もいます。学び、成長し続けていくのは教師も同じです。考え、悩みながら授業づくりや学級経営に力を注ぎ、書籍や研修、学校内外の他者の実践などから学び続けていますが、何よりの師範は子どもたちの姿です。「え、なんで?」、「分かんない」、「できない」という様々な言動で子どもたちが出すサインから学ぶことが大切です。学びやすさや活動のしやすさを考え「分かった!」、「できた!」を実現するために、「特別」ではない支援教育の視点を全教職員で共有したいものです。

メンタルヘルス研修を実施しました（動画配信形式） 12月14日（水）～1月31日（火）

今年度のメンタルヘルス研修は、動画配信形式に変更して実施しました。上越教育大学教授の宮下敏恵様から、ストレスの理解、ストレスチェックの実施と活用、ストレスとつきあうための方法やリラクセーションについて、三つの動画に分けてお話いただきました。個人での視聴や校内研修での活用などで多くの皆様に御視聴いただき、ありがとうございました。

子どもたちのために精一杯力を注ぐためには、教職員が心身ともに健全で笑顔でいられることが何よりも大切です。市立学校では、11月末から12月初旬にストレスチェックを実施しました。届いた結果をセルフケアやラインケアに御活用ください。また、様々な困り感に応じて、教育センターの相談機能も御活用ください。

【メンタルヘルス研修動画視聴者感想から（抜粋、一部省略）】

○ストレスとうまくつきあうには、前向きに学ぶ主体性、情動粒度を高めることが大切というのは新たな視点だった。職場でのラインケアに生かしていきたい。

○講師の体験談、事例もあって分かりやすかった。メンタルヘルス研修を初めて受講して、もっと早く知りたかったなと思った。

○具体的なリラクセーションの方法を動画で教えていただいたので自分でもやってみたいと思った。

▲この動画を1時間かけて、じっくり見る余裕がないことが一番の問題だと思う。

▲個人の研修は多くあるが、組織として働き方改革の面からアプローチしていこうとするところまではなかなか至っていない。

三条市教育センター教育相談について



御相談はこちら

教職員の皆さんの御相談はもちろんのこと、必要に応じて、児童・生徒や保護者の皆さんにも御紹介ください。

三条市教育委員会 教育センター
住所（三条市役所栄庁舎）三条市新堀 1311 番地
TEL(0256)45-1116

お気軽に
お電話く
ださい！

電話相談

まずは、お電話ください。教育センターまたは指導主事宛にお電話をおかけいただき、御相談ください。来所や訪問の相談の日程調整もします。

来所相談

直接相談できます。三条市役所栄庁舎においていただき、教育センター窓口にお声掛けください。

訪問相談

学校に指導主事が訪問いたしますので、御相談ください。

令和4年度 三条学講座（第1回～第7回）紹介

令和4年度三条学講座を年度当初の予定通り、全て実施することができました。

三条のよさやすごさを、教職員自らが体験・研修できる講座であり、初めて三条市に勤務する教職員はもちろんのこと、三条市在住の方の方からも、「改めて三条市の歴史や自然、金物の町三条について学び直した。」と受講しての感想をいただきました。

今年度から、第2回、第7回の講座を除き、五つの講座で各学園から推薦研修として受講を依頼し、希望による受講者も含めて、延べ101人の参加をいただきました。次年度も、推薦による募集と希望による募集を行う予定ですので、ぜひ積極的にお申し込みください。お待ちしております。

第1回「歴史講座1」

6月3日（金）、13人が受講しました。諸橋轍次記念館で、郷土の偉人、諸橋轍次博士の人となり、郷土や教育にかける熱い思いについて学びました。



第2回包丁研ぎ講座

8月2日（火）・3日（水）、15人が受講しました。切れ味の悪くなった包丁を持参し、包丁の正しい研ぎ方を学びました。3種類の砥石で順に研いでいきます。試し切りで新聞紙がスッと切れ、切れ味抜群の包丁になりました。



第3回「和釘づくり講座（和釘づくりの実習）」

8月4日（木）、26人の参加で実施しました。三条の和釘は伊勢神宮の式年遷宮に用いられています。鉄を赤く熱する、叩いて伸ばすという貴重な鍛冶体験で和釘をつくることを通して、ものづくりの楽しさ・奥深さを味わいました。



第4回「歴史講座2（ものづくりのまち三条のルーツを探る）」

9月16日（金）、11人の参加で実施しました。三条鍛冶のルーツと変遷、鋼付けの技術、技術継承、後継者育成等、三条鍛冶の歴史、三条のものづくりへの意気込み、世界に誇る技術の伝承等について学びました。



第5回「金物の話講座（三条刃物について 講義と実演）」

9月22日（木）、10人の参加で実施しました。鋼と鉄の違い、刃物づくりの工程や温度管理、若手職人の育成などの講義を聞き、迫力ある名人技「鍛接」を目の前で見ることができました。



第6回「自然講座（秋の大崎山をたずねて）」

10月12日（水）、8人の参加で実施しました。小林良範様（NPO法人にいがた里山研究会理事長）を講師に、大崎山を散策しながら、木の実や種、草花、昆虫を見付けたり、それを使った遊びを体験したりして秋の自然を満喫しました。



第7回「包丁づくり講座」

11月12日（土）、18人の参加で実施しました。越後三条鍛冶集団（伝統工芸士）、三条鍛冶道場指導員の皆様の指導で、「ペーパーナイフ、小刀、三徳包丁」の3種類から一つを選んで製作しました。名工の手ほどきの下、手づくり感の残る世界でたった一つの自分だけの刃物に挑戦し、「金物の町三条」を実感する貴重な体験をすることができました。



令和4年度 小中一貫教育の各学園取組紹介

今年度も各学園では「交流活動」や「授業研修会」など、工夫をしながら小中一貫教育が進められました。各学園の特色ある取組を紹介します。

三条嵐南学園

小中合同避難訓練



一ノ木戸ポプラ学園

子どもと共に語る会



三条学園 全体研修会

「キャリア5部会」



四つ葉学園

小中合同防災訓練



瑞穂学園

眼育を主とした
生活リズムづくり



三条おおじま学園

ふるさとゴミ拾い
ウオーク



さかえ学園

フラワーロード活動



しただの郷学園

合同自然教室
合同修学旅行



大崎学園 (義務教育学校) 後期課程体育祭



紹介した活動の他にも、各学園では様々な創意工夫ある取組が行われています。その中で、子どもたちは、たくましく、すこやかに成長しています。

今年度の小中一貫教育アンケートの結果を配布いたしました。御覧になり、来年度の学園の取組に活かしていただければ幸いです。